



スージーちゃん

波田まちづくり通信



スイカワくん

梓川高校の家庭科授業を地区住民が支援

梓川高校の家庭科授業を支援するため、波田地区の被服実習サポートボランティアの皆さん5名が、5月20日(月)から6月14日(金)まで延べ21回の授業サポートを行いました。生徒への課題であるエプロン製作に向け、ボタン付け、刺し子、ポケット付け、裾上げなどの工程を生徒一人一人に丁寧に指導し、最終日に完成の運びとなりました。

ボランティアの皆さんは、「若い皆さんと日々交流できることで、逆にこちらが元気をもらえる」と口々に笑顔で語っておられました。この活動は令和3年から続けており、地区住民と生徒による世代間交流事業として定着してきています。



(家庭科授業での指導の様子)



(オオハンゴンソウの駆除作業)

力を合わせて特定外来植物を駆除

まちづくり協議会(地域連携部会)では6月8日(土)、若澤寺跡地周辺で急速に増加しつつある特定外来植物「オオハンゴンソウ」の一斉駆除を行いました。日差しが強い中、参加者15名は汗だくになりながらも、林道沿いに群生したオオハンゴンソウ一本一本を、次の年に発芽・再生させないように根ごと抜き取る作業を行い、その量は大型ビニール袋30袋となりました。

特定外来植物は繁殖力が強いので、そのまま放っておくと他の生物が育つのをさまたげたり、農作物に被害を与えたりする可能性があります。所有地で特定外来植物を見つけた場合は、早めに駆除していただくようお願いします。

松本市では「オオハンゴンソウ」のほか、「アレチウリ」「オオキンケイギク」「オオカワヂシャ」の駆除を特に推進しています。詳しくは松本市ホームページをご覧ください。(実物写真や駆除のポイントを掲載しています。)



中学生「朝のあいさつ運動」に参加中

まちづくり協議会では、今年も5月から中学生が行う朝のあいさつ運動に参加しています。この運動は「あいさつで波田の街に明るい風を」との願いから、中学校生徒会が始めたものです。あいさつが慣習化されることで、家庭、学校、地域など人と人、社会全体のつながりや信頼を深め、助け合いの心を育てることができるこの活動にまちづくり協議会でも賛同し、毎年参加しています。小中学生の登校を見掛けた際、あいさつ運動に加わってみませんか。この活動は来年1月まで毎月続けます。



(波田駅前でのあいさつ運動)